

# 家庭教育学級新聞

第29号 H30.7.18

発行 山武市教育委員会  
生涯学習課



夏休みが目の前に迫っています。1学期の家庭教育学級もそれぞれ計画に従い開催していただき、役員の皆様には感謝申し上げます。参加された皆様も知識や交流が広がったり、新しい体験をしたり親子の触れ合いの機会になったりと、いつもとはちょっと違った時間を楽しめたのではないのでしょうか。そこから子どもへの接し方やまなざしにも余裕と優しさが生まれるかもしれませんね。夏休みも色々な体験や会話を通して親子の絆を深めてください。

## 給食センター見学・給食試食会 6/12 成東小



麦ごはん 鶏肉スタミナ焼き オイスター炒め かき玉コーンスープの給食を試食



2交代制で早番の人は7:30から作業開始。なるべく地元の食材を使っているとのこと。多くの人の手を経ておいしい給食が作られているのですね。そんな人たちに感謝しながら「いただきます」「ごちそうさま」のあいさつもしっかりできるようにしたいものです。

山武市には2つの給食センターがあります。今回は成東学校給食センターの見学をしました。大釜は約2,000人分のスープを作れるそうです。衛生管理に気をつけ、安全な給食を作っている現場を見て、給食への理解と感謝の気持ちが深まり、見学できてよかったという感想がたくさん寄せられました。その後「子どもの食生活」について栄養教諭の猪野先生の講話を聞き、給食の試食をしました。献立やレシピはホームページからも見られます。今年度は10学級が家庭教育学級で給食の試食会を予定しています。安全・安心で栄養とバランスを考えて作られる給食の試食を通して、家庭内でも親子で「食」について考える機会を持っていただけたらいいと思います。

## 救命救急法を学ぶ 7/2 山武南中



心臓マッサージの仕方と「AED」の使い方を一人一人が体験



東消防署山武分署の川島さんと高橋さんを講師に「AED」や救命救急法について学びました。知識として知っていても実際にできるとは限りません。心臓が停止すると1分ごとに10%救命率が下がるそうです。10分過ぎると助からない。でも心臓マッサージをするとその確率は4~5%に下がるので、助かる確率が上がってきます。よい体験ができて良かったとの声が多かったです。多くの人に知ってほしい内容でした。

体調が悪い  
んだけど

熱が下が  
らない

鼻血が止  
まらない

病院に行くか救急車を  
呼ぶか迷ったら  
#7009へ相談  
(救急安心電話相談)

# 話し合ってますか？スマホルール



スマホ脳 1/3 日向幼稚園

鳴浜小の川口校長先生から「情報化社会の現状」や SNS の便利さ・危険性、保護者としての対応、子育てについてなどのお話をうかがいました。小中学校ではスマホ安全教室は開催されていますが、幼稚園で家庭教育学級としての開催は今までありませんでしたので、参加者の皆さんには大変好評でした。スマホは急激に普及し、誰もが手軽に使っていますが、ルールを決めて安全に使いたいものです。参加者からの質問に川口先生が答えてくれましたので紹介します。

<質問>

◇祖父母の家に遊びに行くと、すぐにタブレットを見てしまい、長時間その状態が続きます。スマートにやめさせる方法があれば教えていただきたいです。

<回答>

○やめさせる（禁止⇒力で従わせる）と考えるのではなく、**自分からやらないと考えるように、導いてあげてください。**お子さまが小さいうちは従いますが、自我が目覚めたときや反抗期になったときには、通用しなくなってしまいます。

○祖父母の家に遊びに行くことは、とても良いことです。たぶん、祖父母の家に行くことが、自然の流れになっていると思います。そして、遊びにいくと祖父母はたいへん喜ばれるのではないのでしょうか？でも、よく考えてみてください。（あまり考えたくはないことですが）今の生活は永遠ではなく、人間には寿命があり、いつかお別れの時が必ずやってきます。そう考えると、祖父母に会う機会は、貴重な親孝行の時間で、回数も限られています。当たり前のように、祖父母の家に行くと考えずに、**親が自分を今まで無事に育ててくれたお礼に、祖父母に会いに行くんだよと、お子さまに話してみてください。**昔の小さい頃の思い出を、なつかしそうにお子さまに話してみてください。共通の思い出をお話ししてください。

親が自分の親（祖父母）を大切に思う姿を見て、子どもは多くのことを学びます。祖父母に、親が話していた昔の話を聞くかもしれません。喜びそうなお土産を持っていこうと考えることがあるかもしれません。例えば、折り紙を持っていく、似顔絵を持っていくなど、お子さまなりの心のこもったプレゼントを考えるかもしれません。そのようなとき、「生きていて良かった」となんとなく感じて、祖父母も親もお子さまも、きっと幸せな気持ちになるのではないのでしょうか。（至福のプレゼント）

**親への感謝を教える（学ぶ）よいチャンス**だととらえて、祖父母を喜ばせるためには、どうしたらよいだろうかと、お子さまと相談してみてもいいでしょうか？きっと祖父母を喜ばせるための作戦を考え、うまくいくか期待して、行動していたら、タブレットなどを見ているより、楽しいのではないかと思います。

大切なことは、祖父母を喜ばせようとする気持ちを育てることではないでしょうか。

